Bull. Inst. of Natural Educ., Shiga Heights, Shinshu Univ., 12 : 147～155 (1974)

研究施設昭和48年度報告

中　村　登　流*

Ⅰ　人　事　異　動

昭和48年11月31日，石井栄一教授は施設長の併任任期を満了された。同時に施設規程の改定が成り，新規定の施行が昭和48年12月１日からとなり，施設長選出の方法が変った。同年12月１日より，新たに羽田健三教授が併任施設長となる。また，新規定の施行にともない，多年にわたり施設運営に御苦労願った幹事会は解散となる。

昭和47年10月１日より施設の教務員として勤務された中村隆氏は昭和48年３月31日をもって退職され，長野市，日本総合建設株式会社へ転出された。かわって，昭和48年４月１日より，教務員として赤羽貞幸氏が大町市大町小学校より着任された。

こうした人事異動はあったが，旧施設長，旧幹事会のこれまでの御努力に感謝の意を申しのべると共に，新施設長，新教務員をむかへ，施設のより一層の発展・充実に施設員一同努力して行きたい。

Ⅱ　運　営　会　議

５月23日，第一回幹事会，於学部。参加者，羽田施設主任，中村，山岸各施設員，斉藤，入来，和田，山田，上嶋，田子各幹事。本年度運営委員会に提出される昭和47年度決算報告，事業報告，昭和48年度事業案，予算案，施設規定改定案，運営委員会開催，新館落成竣工式等について討議された。

６月４日，第一回運営委員会，於学部。参加者，石井施設長，北村委員長，小林詢，親里，山内，西山，新井各委員，羽田施設主任，中村，山岸，赤羽各施設員，斉藤，入来，和田，尾崎，山田，上嶋，田子，北中各幹事。昭和47年度事業報告並びに決算報告，昭和48年度事業案並びに予算案，施設規程改定案，新館落成竣工式等について討議され，審議の後承認。

10月22日。第二回幹事会，於学部。参加者，石井施設長，羽田施設主任，中村，山岸，赤羽各施設員，斉藤，入来，和田，尾崎，上嶋，北中各幹事，池田（田子幹事代理）。宿泊施設の利用法，施設の将来計画等について討議された。本会は事実上の最終幹事会とあって，会終了後，ささやかな解散会あり。

Ⅲ　施　設　充　実

(1)　新館落成竣工式

新館は昨年度昭和47年11月31日をもって落成したが，教育学部の学内事情と，亜高山地帯の冬をむかえたことにより，竣工式は本年度に行なうことになった。雪どけを待ち，山の早春，６月12日に，新館にて，常日頃，本施設の発展に賛同いただき御力添え願っている地元

*　志賀自然教育研究施設主任

の方々並びに学部の方に，建設に御努力いただいた大学本部，建設業者の方々をおまねきして，清素ながらも，盛大に挙行された。竣工式実現のために，学部事務部の職員には多大の骨折りをいただいた。

(2)　**観察路，施設周辺の整備**

施設周辺は，工事後の整地が悪く，いちじるしく汚れており，また，観察路は横木の破損が目立って来ていた。工事の方も，新館の周辺整地，道路入口補装，工事後の破損固所の緑化等の問題を残しており，雪どけを待った。

施設周辺の整地，下の広場の整地と砕石入れ，自然観察路の補修には6月9日，10日に学部理科，生物研究室の教官，学生による応援をいただいた。

新館周辺の緑化には，地元和合会，山ノ内町役場の御援助により多数の苗木を入手することができ，6月19，20，21日に学部管理係員の応援を得て，連日の雨にもかかわらず植樹し得た。これらの木々が根づいて，新館のまわりを緑におおってくれることを願っている。

本年冬は，多雪に見まわれ，新館，展示館，住宅の雪の始末に追われたが，新館の除雪には，学部事務部の方々の応援をいただいた。

(3)　**観察路の質問板**

観察路には昨年度，下の広場を中心に質問板を設置したが，かなりの反応があったので，本年度はコース全域に26問設置した。また問題についての考える手引きをプリントし，要望に応じて配布した。難問だという意見が聞かれたが，答えよりも，森林内で考えたり討論したりすることに主眼をおいている。今後，各方面の批判を得て，改良を加え，いずれはパンフレットにしたい考えである。

(4)　**実験研究設備**

新館の二階冷凍室，低温室は，当初の予算不足のため機械装置の設備がおくれていたが，各方面の努力によって，本年度冷凍装置300万円の特別設備費がついた。目下設置準備中である。これにより，高冷地生理学実験，気象学実験等が可能になるので，有志の研究者，学生の実験研究に大いに活用されることを期待する。

Ⅳ　印　刷　物

(1)　パンフレット，5000部。自然観察路入口の展示館にて，訪問者に無料で配布されている。

(2)　研究業績，800部。本年度の研究業績の編集は，施設員が委員となって行なった。

Ⅴ　自然教育実習

昭和48年度理科教材取得学生志賀自然教育実習は羽田健三，和田清，中村登流，山岸哲，赤羽貞幸各指導教官により行なわれた。新館宿泊施設を使用した最初の実習であり，二泊三日の実習であった。前半は7月1日から13日まで6班，後半は10月6日から16日まで5班。学部のマイクロバス故障のため，現地集合，解散という方法をとった。参加し，終了証を持って帰った学生は前半198名，後半は137名（内わけは後述）。

Ⅵ　大学開放講座

大学開放講座「自然保護」が行われた。羽田健三，中村登流，山岸哲，赤羽貞幸各講師による講義と野外実習。第1回は8月1日から4日まで，受講者15名，第2回は9月3日から

6日まで，受講者2名，第3回は10月1日から4日まで，受講者6名，合計21名。

Ⅶ　施設利用研究者

昭和47年12月29日に施設が宿泊者の受け入れをはじめてから，昭和49年2月21日までに，延べ3,489名の方々によって新施設は利用されてきた。そのうち12月～4月までの冬季宿泊利用者は1,778名であり，5月～11月までの夏季宿泊利用者は1,711名である。

これらのうちの主なる利用状況を第1表に示す。

第1表　研究施設利用状況

調査・実習・及び会議名	利用月日	利用者
信州大学スキー部合宿	48. 1. 4～ 1. 9	信大・繊維・学生小佐波純夫　他23名
信大・教育・教官スキー部合宿	1. 5～ 1. 8	信大・教育・教官，間中大十　他8名
雪の観測	1.27～ 1.28	信大・教育・地学科教官，岩井邦中
動物生態ゼミナール	2.13～ 2.15	千葉大・理・学生，八木和主男　他1名
東京大学附属図書館研修会	3.10～ 3.12	東大・附属図書館　浦野都志子他5名
ヤブキリの音色分折	3.30～ 3.31	長野県阿智高校教諭　小林正明
特殊教育研究ゼミナール	3.11～ 3.13	信大・教育・特殊科教官，間中大十他，同科学生4名
土壌調査	6.18～ 6.19	長野営株局，福島道夫他2名
長野県自然保護指導員講習会	6.25～ 6.27	長野県環境保全課，40名
第2回日本ザルの現況シンポジウム	6.28～ 6.30	京大・霊長研教官，和田一雄他29名
信大・教育・理科教材実習 (1)	7. 1～ 7. 3	信大・教育・学生　29名
〃 (2)	7. 3～ 7. 5	32名
〃 (3)	7. 5～ 7. 7	35名
〃 (4)	7. 7～ 7. 9	36名
〃 (5)	7. 9～ 7.11	36名
〃 (6)	7.11～ 7.13	30名
長野県野生鳥獣生息調査合宿	7.21～ 7.22	信大・教育・生物科教官，羽田健三他31名
東京都立大・生態学野外実習	7.23～ 7.28	東京都立大・理・教官，北沢右三他1名。同学部学生11名
信大・理・植物野外実習	7.23～ 7.28	信大・理・教官，安田斉他2名。同学部学生12名
日本鳥学会大会	7.28～ 7.30	山階鳥類研究所研究部長，黒田長久他29名
大学開放講座「自然保護」(1)	8. 1～ 8. 4	長野県須坂東高校教諭，吉池壬他14名
社会調査法演習の予備学習	8. 4～ 8. 6	信大・教育・社会科教官，北原竜二他同科学生20名
ＩＢＰ土壌調査	8. 6～ 8. 8	多摩川学園大学，大学院生，前田由紀子
〃	8.24～ 8.28	埼玉県越谷北中学校教諭，原沢興子
大学開放講座「自然保護」(2)	9. 3～ 9. 6	長野盲学校教諭，太田朝夫他1名
技術科合宿ゼミナール	9.15～ 9.16	信大・教育・技術科教官，松沢邦彦他同科学生22名
日本科学者会議「母と子の自然教室」	9.29～ 9.30	信大・教育・教官，大村道雄他11名
大学開放講座「自然保護」(3)	10. 1～10. 4	長野県下高井農林高校教諭，山口登他5名
信大・教育・理科教材実習 (7)	10. 6～10. 8	信大・教育・学生35名
〃 (8)	10. 8～10.10	〃　30名
〃 (9)	10.10～10.12	〃　30名

〃	(10)	10.12～10.14	〃　　20名
〃	(11)	10.14～10.16	〃　　22名
学校理科研究会		10.18～10.20	信大・教育・平沢進教官他，広島大２，島根大２ 佐賀大１，岡山大１，新潟大１，各教官
ＩＢＰ土壌微生物調査		10.25～10.27	東大・農・教官，金沢晋二郎他同学部学生２名 玉川大・農・教官，竹島征二他　〃　２名
東京農工大・野外実習		10.27～10.28	東農工大・教官，浜田竜之介他２名，同学学生６名
ゼミナール「長野盆地の成因」		12. 8～12. 9	信大・教育・地学科教官，斉藤豊他18名
日本科学者会議若手研究者冬の学校		1.15～ 1.18	信大・教育・家庭科教官，大村道夫他29名

Ⅷ　一般参観者の利用状況

４月１日より11月30日まで，展示館入口に来館者名簿を常備して，そこに記入されたものについて集計した。団体については10名以上のグループについて集計してある。

なお，この集計は，来館者の自主記入方式であるため，未記載者も相当数存在しているものと考えられる。

全利用者数　30,109名

内　個人利用者数，5,565名　　団体利用者数　24,544名

これらの詳細は，次の表によって表わされている。

1　団体名と人数（第１表）
2　団体の種類（第２表）
3　団体数の県内外の比率（％）（第３表）
4　県別参観者数（第４表）
5　月別参観者数（第５表）

ま　と　め

全体的な参観者の傾向をみると，ここ数年似たような傾向を示している。それらを各表と数年来の資料と比較してみると，次のようなことが言える。

1）総参観者数は，年々増加しており今年は30,000人台となり前年より１割増えた。しかし，個人参観者は，ここ数年減っており，団体参観者が増えている。

2）団体は数が増えるとともに，県外の団体がしめる割合が増えている。とくに今年は，80％が県外の団体である。

3）県別の参観者をみると，県内参観者は17.8％にすぎず，関東・近畿地区の参観者で85％をしめている。

4）月別の参観者をみると，個人・団体ともに，５月，７・８月，10月に訪れる人が多い。特に，団体は５月，７月，個人は８月が多い。

以上のような傾向があるが，これは，自然探訪の修学旅行のコースとして，都会に住む人々の自然探訪の地として当自然教育園を利用することが，固定してきたことを示している。また，これとうらはらに，参観者の増加は，自然教育園を管理する上でいくつかの問題を生みだしている。とりわけ置き捨てられるゴミ処理の問題は重大となっている。これらの問題は，自然を多くの人々に開放する上でも解決しなければならぬ問題であり，今までのような

自然の開放をここらでもう一度考えてみる必要にせまられている。

第1表　団体名と人数

5月4日	横浜市南区働く者の集い	神奈川	10名
9	東京武蔵野市教育委員会	東京	19
10	中野高校	長野	41
11	滝川中学校	兵庫	41
	旭陽中学校	大阪	462
12	鳴尾中学校	不明	15
	富士電機川崎工場	神奈川	14
13	枚方市立第1中学校	大阪	395
14	八雲中学校	〃	174
17	練馬工業高校	東京	38
18	吹田市立第五中学校	大阪	300
19	淀中学校	京都	217
	東京大学理学部	東京	21
	吹田市立第一中学校	大阪	325
20	岡谷工業高校	長野	12
	競走馬理化学研究所	東京	10
23	鶴岡南高校	山形	10
24	〃	〃	10
	高槻市立第10中学校	大阪	230
	啓明中学校	兵庫	298
	平安女学院	京都	10
25	久米田中学校	大阪	400
	旭中学校	愛知	230
	清友高校	大阪	100
26	旭中学校	愛知	230
	梅香中学校	大阪	418
	西尾実業高校	愛知	242
	北中学校	埼玉	220
	高崎経済大学	群馬	45
27	日新中学校	兵庫	10
	浜寺中学校	大阪	25
29	世田谷有志会	東京	18
	日本大学生産工学部	〃	31
	コウタリ（株）	不明	27
	早稲田高校	東京	153
30	東北信保健所長	長野	14
	猿投農林高校	愛知	203
31	上田東高校	長野	44
	明石高校	兵庫	46
6月2日	長野赤十字高等看護学院	長野	27
	今津中学校	兵庫	108
6月4日	飯山警察署	長野	17名
4	高野台中学校	大阪	409
5	飯山警察署	長野	17
	惟信高校	愛知	48
	須坂東高校	長野	180
6	高志高校	福井	18
	高槻第一中学校	大阪	200
7	明親中学校	兵庫	35
8	日本醸造工業（株）	茨城	24
9	高志高校	福井	83
10	ヌーベルファミリア	大阪	12
11	武蔵野市立第2中学校	東京	214
13	加賀屋中学校	大阪	500
14	緑中学校	〃	20
	京都六深会	京都	11
16	富士通研究所	神奈川	12
17	早稲田早記学校	東京	10
	園田中学校	兵庫	436
23	昭栄電子労組	長野	20
	長田燃料店	〃	69
27	尼崎高校	兵庫	114
28	東洋大学体育会	東京	85
7月1日	小山小学校ＰＴＡ	長野	110
3	中部工業大学	愛知	29
7	南多摩高校	東京	82
9	半田高校	愛知	30
	山ノ内町議会	長野	12
	相模女子大学	神奈川	106
	鳳女子大学	大阪	591
10	半田高校	愛知	30
13	裾花中学校	長野	14
	慶応義塾普通部	神奈川	150
14	豊栄小学校ＰＴＡ	長野	50
	彦根東高校	滋賀	45
	南宮中学校	長野	320
	豊田中学校	〃	130
15	慶晋第一グループ	神奈川	10
16	染色親葉会	東京	20
	鳳高校	大阪	48
	成城学園	東京	100
17	蓮田中学校	埼玉	250
	聖徳短期大学	千葉	700
	陽南中学校	大阪	430
	川中島中学校	長野	210

7月18日	高社中学校	長　野	172名
	菖蒲中学校	埼　玉	162
	鳳高校	大　阪	250
	すずらんパーティー	不　明	150
19	種足中学校	埼　玉	60
	寄居中学校	〃	212
	山ノ内中学校	長　野	11
	慶応大学法学部	東　京	16
	北部中学校	長　野	214
20	沼津東高校	静　岡	30
	望月中学校	長　野	194
	七二会中学校	〃	112
	木島平中学校	〃	140
21	聖徳学園短期大学	東　京	220
	目白学園高校	〃	260
	成蹊小学校	〃	124
	大成女子高校	茨　城	20
22	常盤女子高校	埼　玉	81
	武蔵野音楽大学	東　京	10
	お茶ノ水女子大附属中学校	〃	10
23	金沢二水高校	石　川	44
	十松幼稚園	兵　庫	13
	お茶ノ水女子大附属中学校	東　京	44
	中野女子高校	〃	11
	沼津東高校	静　岡	78
	桐生女子高校	群　馬	386
	花園高校	大　阪	51
	馬宮中学校	埼　玉	93
	清瀬高校	東　京	350
24	東京海上火災（株）	神奈川	13
	高津中学校	〃	130
	早稲田大学高等学院	東　京	10
	埴生中学校	長　野	130
	調布学園中学校	東　京	73
25	東京目白学園	東　京	110
	大谷場中学校	埼　玉	16
26	西条高校	愛　媛	144
	和光第２中学校	埼　玉	138
	桃山中学校	新　潟	30
	蓮田中央小学校	埼　玉	117
	土合中学校	〃	303
	石川台中学校	東　京	100
27	植竹中学校	埼　玉	222
	西条高校	愛　媛	127
	福山高校	広　島	560
7月27日	愛知青少年協会	愛　知	31名
	邑久高校	岡　山	62
	日立第二高校	茨　城	21
28	渋川小学校	東　京	11
	東京家政大附属中学	〃	40
	フジテレビリビング４	〃	207
29	弥生高校	栃　木	130
	北川辺中学校	埼　玉	13
	日大理工学部	東　京	23
	三菱重工横浜造船所	神奈川	111
	戸田東中学校	埼　玉	100
	栗橋東中学校	〃	155
	大森第八中学校	東　京	60
30	新宿保健所	東　京	11
	聖徳学園小学校	〃	46
	永峰学塾	〃	20
31	名古屋大学工学部	愛　知	20
8月１日	フジテレビリビング4	東　京	181
	山陽テニスクラブ	兵　庫	10
	掛川西高校	静　岡	145
	高柳小学校	埼　玉	33
	大阪星光学院	大　阪	101
	小室小学校	埼　玉	200
2	松山南高校	愛　媛	130
	上越農業改良普及所	新　潟	21
	西大寺高校	岡　山	82
	埼玉大生協	埼　玉	12
	東洋大学工学部	〃	10
	立正女子大学	〃	16
	中込商業高校	東　京	36
	小針小学校	埼　玉	25
4	中日バストライブ	石　川	25
	桜ケ丘女子高校	埼　玉	80
	大川町婦人会	香　川	55
5	北斗文会	埼　玉	14
6	桜川村教育委員会	茨　城	53
	吹上中学校	埼　玉	218
7	山ノ内中学校	長　野	20
8	大日本観光（株）	東　京	30
	沼田女子高校生物部	群　馬	27
10	坂西中学校	〃	294
	ＡＢＡ教育研究会	不　明	50
11	寝屋川保育所分会	大　阪	16
13	日立労組茂原支部	千　葉	53
14	山田義塾	埼　玉	102
15	金子製版	群　馬	30
	南紡績ＫＫ	大　阪	35

8月16日	ブナ平ロッヂ	長　野	11名
18	飯山市保育園連盟	〃	73
20	深川学習塾	東　京	45
21	花村理容	愛　知	10
	上山田中学校	長　野	268
22	真田中学校	〃	270
	修学旅行担当教師	京都他	49
	開成学園	東　京	26
	前橋高校ＯＢ	群　馬	11
23	目黒星美学園中学校	東　京	63
	新町小学校	徳　島	16
	東京急行志賀高原の旅	東　京	30
	光陽中学校職員	大　阪	17
24	春日井高校	愛　知	100
	関西大放送研究会	大　阪	10
25	国公立大学厚生補導研修会	東　京	50
	久保田兄弟会	〃	13
26	明科町青年会	長　野	25
	日滝小学校ＰＴＡ	〃	50
27	椙山女学園大学	愛　知	21
28	ボーイスカウト東京198団	東　京	30
	乗原寺35会	神奈川	15
	西東京ガイド	東　京	15
	三鷹第三中学校	〃	10
29	お茶ノ水女子大学	〃	10
30	東京理科大学	〃	13
	高根台第一小学校	千　葉	37
9月1日	日立ソフトウェアエンジニアリングＫＫ	神奈川	10
	桃山学院大学グリークラブ	大　阪	46
6	慶応義塾大学	東　京	15
10	早稲田大学書道会	〃	16
11	東経大長島ゼミナール	〃	26
13	森田屋	岡　山	40
18	同愛記念病院	東　京	32
20	城南編物ＫＫ	〃	14
	九　観	長　野	12
22	日立習志野経理	千　葉	14
9月26日	教育センター協議会	富　山	13名
27	北相木中学校	長　野	30
	大宮桜木町会	埼　玉	29
28	南相木中学校	長　野	84
29	社会調査研究所	東　京	10
10月2日	豊州小学校	長　野	75
	十日町実業高校	新　潟	300
4	農業技術大学園	長　野	22
	中野小学校	〃	12
5	須坂高校	〃	50
	練馬病院	東　京	不明
6	日本航空電子工業ＫＫ	〃	20
	富士経済	〃	不明
7	加茂ケ丘高校	愛　知	133
	和泉高校	大　阪	136
	信大附属小学校	長　野	135
11	永田小学校	〃	36
12	学文中学校	兵　庫	230
13	日本看護協会	神奈川	15
	准看護学校	京　都	137
16	山ノ内南小学校	長　野	163
	千里高校Ｂ	大　阪	180
17	南高校	〃	53
18	千里高校Ａ	〃	180
19	長久手高校	愛　知	345
	東山高校	京　都	10
	練馬総合病院	東　京	53
	山田機械工業協力会	千　葉	23
20	不　明	秋　田	20
21	岡谷市立病院	長　野	15
23	柳原小学校	〃	63
25	八尾高校	大　阪	90
26	食品産業高校	〃	41
	緑化連盟	長　野	32
29	小野工業	兵　庫	85
	東部町環境審議会	長　野	20
31	嵯峨野高校	京　都	10
11月3日	田辺製薬研究所	大　阪	19
	エース製靴（株）	東　京	12

第2表　来訪団体の種類

	県外 218団体(82.9%) 20,818名 (84.8%)		県内 45団体(17.1%) 3,726名 (15.2%)		計	
	団体数(%)	人数	団体数	人数	団体数	人数
小学校	19(8.7)	609(2.9)	6(13.3)	484(13.0)	25(9.5)	1,093(4.5)
中学校	56(25.7)	9,748(46.8)	16(35.6)	2,319(62.2)	72(27.4)	12,067(49.2)
高等学校	54(24.8)	6,094(29.3)	6(13.3)	354(9.5)	60(22.8)	6,448(26.3)
大学	24(11.0)	2,106(10.1)	1(2.2)	22(0.6)	25(9.5)	2,128(8.7)
一般	65(29.8)	2.261(10.9)	16(35.6)	547(14.7)	81(30.8)	2,808(11.4)
計	218	20,818	45	3,726	263	24,544

第3表　団体数の県内外の比率（%）

	小学	中学	高校	大学	一般	計
県内	24.0	22.2	10.0	4.0	19.8	17.1
県外	76.0	77.8	90.0	96.0	80.2	82.9

第4表　県別参観者数

県	個人	団体	全体	%	県	個人	団体	全体	%
北海道地区	7	0	7	0.0	富山	29	13	42	0.2
北海道	7	0	7	0.0	福井	3	101	104	0.4
東北地区	23	40	63	0.2	石川	29	69	98	0.4
青森	1	0	1	0.0	近畿地区	702	8,017	8,719	35.5
岩手	1	0	1	0.0	滋賀	13	45	58	0.2
秋田	5	0	5	0.0	京都	105	444	549	2.2
山形	2	40	42	0.2	大阪	398	6,102	6,500	26.5
宮城	8	0	8	0.0	奈良	29	0	29	0.1
福島	6	0	6	0.0	和歌山	5	0	5	0.0
関東地区	3,379	8,814	12,193	49.7	兵庫	152	1,426	1,578	6.4
茨城	54	118	172	0.7	中国四国地区	70	1,216	1,286	5.2
栃木	41	130	171	0.7	岡山	34	184	218	0.9
埼玉	497	3,043	3,540	14.4	広島	12	560	572	2.3
群馬	176	793	969	3.9	山口	3	0	3	0.0
千葉	321	827	1,148	4.7	鳥取	1	0	1	0.0
神奈川	627	596	1,223	5.0	島根	0	0	0	0.0
東京	1,663	3,307	4,970	20.2	香川	6	55	61	0.2
中部地区	1,351	6,215	7,566	30.8	徳島	0	16	16	0.1
長野	649	3,726	4,375	17.8	愛姫	7	401	408	1.7
新潟	142	351	493	2.0	高知	7	0	7	0.0
山梨	21	0	21	0.1	九州地区	28	0	28	0.1
岐阜	40	0	40	0.2	福岡	7	0	7	0.0
愛知	369	1,702	2,071	8.4	佐賀	0	0	0	0.0
静岡	43	253	296	1.2	長崎	2	0	2	0.0
三重	26	0	26	0.1	大分	8	0	8	0.0

熊本	5	0	5	0.0	沖縄	5	0	5	0.0
宮崎	0	0	0	0.0					
鹿児島	1	0	1	0.0	外国	5	0	5	0.0

第5表 月別参観者数

月	個人（%）	団体		計（%）
		団体数（%）	人数（%）	
4	5 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.0)
5	284 (5.1)	39 (15.4)	5,108 (20.8)	5,392 (17.9)
6	212 (3.8)	24 (9.5)	2,669 (10.9)	2,881 (9.6)
7	978 (17.6)	84 (33.2)	10,269 (41.8)	11,247 (37.4)
8	3,311 (59.5)	57 (22.5)	3,392 (13.8)	6,703 (22.3)
9	439 (7.9)	15 (5.9)	391 (1.6)	830 (2.8)
10	299 (5.4)	32 (12.6)	2,684 (10.9)	2,983 (9.9)
11	37 (0.7)	2 (0.8)	31 (0.1)	68 (0.2)
計	5,565	253	24,544	30,109